

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	10	学校名	大和中央高等学校
----	----	-----	----------

1. 取組名 通信制課程の魅力発信及び地域貢献プロジェクト

2. 活動内容

本校は昨年節目である開校10周年を迎えた。徐々に地域の高校であるという認知度も上がってきている。地域の祭りである「順慶まつり」に参加するようになって3年が経った。4年前、筒井順慶顕彰会会長から「地域の高校として参加してこないか」とう声かけで始まった。どのような祭りであるか、通信制課程として何ができるか、ということ視察し、1年目は生徒会役員有志で参加をすることを引き受けた。本校通信制としては初めての試み、引き受けたものの不安でいっぱいであった。しかし順慶顕彰会の強力なサポートと生徒会役員の生徒たちの頑張り、更に地域の方々の温かい声かけのおかげで、無事予定通りにすべての活動を行うことができた。そして参加した生徒たちが「苦しかったけど、それ以上に楽しかった」「自分の自信になった」などの感想をのべ、2年目以降は生徒会役員有志だけでなく、学校設定科目「生活文化の伝承A」「生活文化の伝承B」受講生徒たちが模擬店で販売するお菓子の研究、製作、販売、さらに陣笠と甲冑を作り時代行列に参加するまでになった。さらに、今年度は生徒会役員で、ゴミステーションの運営を提案し、祭り当日、ゴミの分別回収で地域貢献をした。



3. 成果と課題

今年度参加した生徒たちからも「この講座に参加したのは初めてだったのですが陣笠を被ってとても新鮮でした。」「自分が作ったクッキーが出てうれしかったです。」などの感想をもらった。ゴミステーションに参加した生徒会役員から「ゴミステーションで、地域の方が協力して下さるのが嬉しかった」という感想があった。一方、ゴミの分別回収を行うにあたり、生徒会が集めたゴミの処理は順慶まつり実行委員会に引き受けてもらうことになっていたのに、生徒がゴミを集めていた場所に、一緒に参加していた模擬店のゴミも集まっていて、実行委員会の方にご迷惑をかけた。さらに、飲み残しのビールや残飯の処理に生徒たちは苦勞した。次年度は、この点を地域の方々や祭りの実行委員会の方と調整することが課題である。



4. 次年度に向けて

3年間続けて生徒とともに参加し、本校への 地域の方々の温かさと期待感を実感している。また、順慶まつりが本校にとっても重要な学校行事の一つになったことを嬉しく感じている。